

課題名	32. ミカンハモグリガ防除体系																																								
成果の要約	ミカンハモグリガ成虫はカンキツの夏秋しょうの発生初期に多くなるので、この時期に防除効果の高い合成ピレスロイド剤1回を散布し、それ以後は他の系統の薬剤を3回散布すれば、被害を防ぐことができる。																																								
成績概要	<p>表1 ミカンハモグリガの防除体系</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試 験 区</th> <th rowspan="2">ハモグリ 被害度</th> <th colspan="4">ハダニ密度 (／100葉)</th> </tr> <tr> <th>10日後</th> <th>20日後</th> <th>30日後</th> <th>40日後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロディー2回+デミリン2回交互</td> <td>1.8</td> <td>27</td> <td>45</td> <td>25</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>〃 1回+ 〃 3回</td> <td>0.7</td> <td>11</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>〃 1回+ 〃 3回 (3日後)</td> <td>0.2</td> <td>13</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>アグロスリン4回</td> <td>0.2</td> <td>43</td> <td>179</td> <td>189</td> <td>311</td> </tr> <tr> <td>無 処 理</td> <td>34.2</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(果樹試験場)</p>	試 験 区	ハモグリ 被害度	ハダニ密度 (／100葉)				10日後	20日後	30日後	40日後	ロディー2回+デミリン2回交互	1.8	27	45	25	52	〃 1回+ 〃 3回	0.7	11	25	24	73	〃 1回+ 〃 3回 (3日後)	0.2	13	25	26	51	アグロスリン4回	0.2	43	179	189	311	無 処 理	34.2	22	20	12	52
試 験 区	ハモグリ 被害度			ハダニ密度 (／100葉)																																					
		10日後	20日後	30日後	40日後																																				
ロディー2回+デミリン2回交互	1.8	27	45	25	52																																				
〃 1回+ 〃 3回	0.7	11	25	24	73																																				
〃 1回+ 〃 3回 (3日後)	0.2	13	25	26	51																																				
アグロスリン4回	0.2	43	179	189	311																																				
無 処 理	34.2	22	20	12	52																																				
普及上の留意点																																									